

第 120 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 5 年 7 月 26 日 (水)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 7 人
 - 出席委員の氏名 (敬称略)
今井陽子 / 小澤健一 / 風間隆之 / 風間まり子
佐藤正幸 / 富田充慶 / 田中美由紀
 - 欠席委員の氏名 (敬称略)
相京恵 / 清水一希 / 高井俊一郎
竹中隆 / 吉井照雄 / 吉村巳之
 - ラジオ高崎 3 人
 - 代表取締役社長 大山駿作
 - 専務執行役員 関口高史
 - 執行役員放送局長 田野内明美
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 交通安全運動特別番組「徹底リポート 自転車事故“危険スポット”はココ！」
について (5 月 11 日の本放送済み音源)
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内 <http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和 5 年 8 月 20 日(日) 午前 6 時 55 分～6 時 59 分

(別紙) 議事の概要

- ・代表取締役社長大山駿作より挨拶。
- ・執行役員放送局長田野内明美より特別番組の紹介。

- 特別番組「すごいぞ G7」(4/28、再 4/29、4/30)
- 交通安全特番「徹底レポート 自転車事故“危険スポット”はココ！」(5/11、再 5/12～5/20)
- 第 11 回榛名山ヒルクライム in 高崎 独占実況生中継 (5/12、5/13、5/14)
- PERSONZ BEST TOUR スタート！メンバー全員で生放送！(6/10)
- 特別番組「夏の交通安全ラジオ」「ゲリラ豪雨！車の水没から脱出せよ」(7/11、7/12、再 7/13～7/20)

今後放送予定の特別番組

- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot シリーズ vol.9
東亮汰 ヴァイオリン・リサイタル (再 8/2)
- 高崎芸術劇場 大友直人 Presents T-Shot シリーズ vol.10
水野優也 チェロ・リサイタル (8/9)

※審議対象

【素材名】交通安全運動特別番組「徹底レポート 自転車事故“危険スポット”はココ！」

【内 容】中高生の自転車の交通事故発生率ワースト 1 位の群馬県。どうしてここまで自転車運転中に事故に合うのか。高崎警察署、群馬県教育委員会それぞれの担当者に徹底取材し、どうすれば事故を減らすことができるのかを考える 30 分の特別番組。春の全国交通安全運動(5 月 11 日～20 日)の期間中に連日放送。

【放送日】令和 5 年 5 月 11 日(木) 15:00～15:30

令和 5 年 5 月 12 日(金)～5 月 20 日(土) *再放送

- ・番組説明と OA 素材試聴のあと、広く意見を求めた。

委員各位の意見

交通安全運動特別番組「徹底レポート 自転車事故“危険スポット”はココ！」について

○様々な方に取材して色々な角度からの意見が聴けたので、聴き応えのある番組だと感じた。

○放送時間として、30分は少し長かったと思う。放送内容はとてもよかったので、3構成の番組であれば分割して放送してもよかったと思う。

○午前・午後・夜と放送時間をかえて繰り返し放送していてよいと思う。

(事務局) 10分くらいの番組3本にわけた方が、もっと聴きやすい番組になったかもしれない。どうすればリスナーに聴いてもらえるか、放送時間や時間帯など、再検討していきたい。

○ターゲットはドライバーとのことだが、中高生にも聴いてもらいたい内容だった。中学校・高校の昼休みに放送をかけてもらうように提案してみたらどうか。

(事務局) 今回はドライバーに注意喚起を促す目的でつくった番組だった。今後は中高生に聴いてもらう方法も考えていきたい。番組を構成ごとに分けるなどして、子どもたちにも聞きやすく、学校の隙間時間に流してもらえるような番組づくりを検討したい。

○高齢者の運転も危険だなと思うことが多い。また、かつては違反でなかった行為が現在は違反行為だと知らない(知っていても軽視している)高齢者が多い。高齢者の危険運転についても取り上げてみてはどうか。

(事務局) 夏の交通安全運動の重点項目に、「子供と高齢者の交通事故防止」も入っていたのだが、今回は事故件数の多い子どもの事故にフォーカスを当てた。今後は高齢者に向けた内容の番組も検討していきたい。

○電気自動車はエンジン音が静かなので、前方を走っている自転車は、後方から車が近づいてくることに気づきにくい。自転車側が感じる危険についてドライバーの認識が変わると、交通事故もさらに減るのでは。

○「群馬県は交通事故件数が多い」ということを聞き慣れてしまっている。例えば、交通事故の少ない沖縄と比較して、なぜ沖縄は交通事故が少ないのか、群馬県との比較を聴いてみたい。エンタメ要素を入れるなど、いつもと違う切り口の番組をつ

くってみるのもいいのでは。

その他の番組やラジオ高崎の取り組み全般について

○仕事中に流して聴いているが、どの番組もとても聴きやすく、よいと思う。充実した内容の番組が多く、良いと思う。

○普段ラジオを聴かない層（学生や高齢者）にも聴いてもらうことが今後の課題だと思う。

・代表取締役社長大山駿作より

自転車の交通法令違反に関して、今までは注意書きだけだったが、最近は積極的に赤切符をきっていると県警の方が話していた。交通安全については、子どもの時から、教育の中でしっかり行っていくことが大切なのかもしれない。ラジオ高崎としても、教育委員会と連携して、音源を学校で放送してもらう等、子どもの交通安全啓蒙に取り組んでいきたい。

以上